

# 最優秀賞

小学 長谷川さん(福島)  
中学 佐藤さん(若松)

福島民報社が主催する第八回「私と新聞」親子作文コンクールの賞作品が決まった。親子賞の最優秀賞には小学生の部で長谷川慶佑君(小)福島市、福島大付属小(一年)と母美香さん(母)、中学生の部で佐藤由菜さん(中)北会津市、北会津中二年と母陽子さん(母)の作品が選ばれた。最優秀賞と優秀賞の表彰式は十七日午後一時半から、福島市の民報ビルで行われる。

読む知る学がE!新聞



長谷川美香さん



長谷川慶佑君



佐藤陽子さん



佐藤由菜さん

## 17日表彰式

家庭や学校で新聞に親しんでもらう「読む知る学」E!新聞「プロジェクト」の一環で、紙面を通して家族の対話を深めるのが目的。県、県教委が後援し、小中学生と保護者(祖父母を含む)を対象に新聞を題材とする作文を募集した。親子合わせて六百八十五点の応募があり、県教育庁県北教育事務所の嶋原俊洋学務指導主事、福島民報社の安田信二地域交流室長らが審査した。

最優秀賞に選ばれた長谷川慶佑君は興味のある記事を集めてオリジナルの新聞を作る楽しさ、新聞配達員への

感謝の気持ちをこつこつと。美香さんは新聞に親しむ慶佑君の成長ぶりを書いた。佐藤由菜さんは陽子さんが選んだ記事を読み、さまざまな人の考えや生き方を知ることの面白さを紹介。陽子

さんは新聞を「人生の羅針盤」と表現し、わが子にも新聞を読んで豊かな人生を歩んでほしいという思いをまこと込めて。親子賞の入賞作品は連続で紹介する。審査員 嶋原

や思考力などさまざまな面で成長する姿が描かれている。親子の心の交流も感じられ、温かい気持ちにさせられた。ぜひ、親子で入賞作品を読んでほしい」と話している。



審査員を務めた嶋原俊洋学務指導主事

### 最優秀賞を除く受賞者

(親子賞は子ども、父母・祖父母の順)

- 【小学生】▷親子賞▷優秀賞＝馬場理奈・理恵(鶴城)田崎妃乃・奈々恵(一箕)▷入選＝郡司幸・千春(関本)折笠颯汰・友一(安達太良)渋谷侑太・美枝(鶴城)轟山冬明・梢(一箕)石井蘭南乃・美香(柴宮)遠藤萌花・陽子(福島三)明石侑子・重尋・須田夕菜・由美子(金谷II)亀山ひかり・まち子(大島)森島陸・啓子(磐梯二)
- ▷子ども個人賞＝中川美優花(神指)平田清香、遠藤悠生(日新)児玉愛花、宮武魁(五箇)大宮和保(鶴城)門馬文佳(旭)小泉來生(御蔵)
- ▷学校賞＝日新、一箕、五箇、大島、金谷II、鶴城
- 【中学生】▷親子賞▷優秀賞＝橋本みなみ、由香里(三春)佐藤響・繁(若松三)▷入選＝佐藤愛菜・陽子、渡部桜妃・知美、長田夏歩・佐智代(北会津)生田目蘭奈・由紀江(ひらた清風)久間木悟志・洋子(西郷二)
- ▷子ども個人賞＝栗城明梨、岩崎紗綾(北会津)祓川純風、小野崎桜優、会田莉里佳(緑ヶ丘)
- ▷学校賞＝緑ヶ丘、北会津